

秋田市教育委員会
令和2年2月定例会
(資料①)

【資料目次】

教育長等の報告

- | | |
|--|-------------|
| (1) 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について | … 1 |
| (2) 学校適正配置の取組状況等について | … 7 |
| (3) 令和4年度以降の「成人のつどい」について
「成人のつどい」のあり方について（答申） | … 8
(別紙) |

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

1 調査の目的

全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、子どもの体力が低下している状況にかんがみ、スポーツ庁が全国的な体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の結果を検証し、改善を図ることを目的として実施しているものです。

本市では、調査結果から子どもたちの体力の状況や運動習慣を把握し、一人ひとりの体力や健康に関する指導の改善のために役立てたいと考えています。

2 調査対象

小学校5年生2,310名、中学校2年生2,248名

3 調査の内容

<実技に関する調査>

- [小学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑥50m走（瞬発力・疾走能力）
 - ⑦立ち幅とび（瞬発力・筋パワー・跳躍能力）
 - ⑧ソフトボール投げ（巧緻性・投球能力）

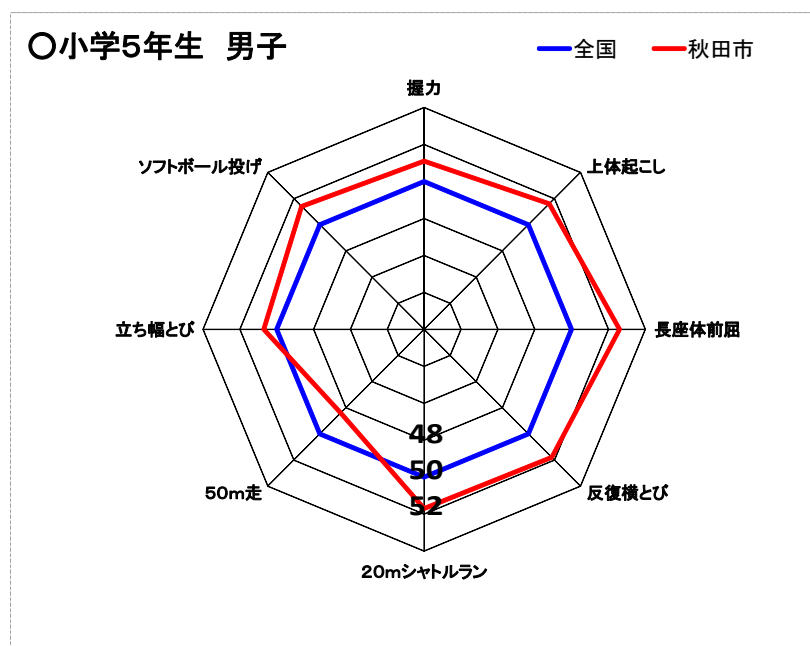
- [中学校8種目]
- ①握力（筋力）
 - ②上体起こし（筋パワー・筋持久力）
 - ③長座体前屈（柔軟性）
 - ④反復横とび（敏捷性）
 - ⑤20mシャトルラン（全身持久力）
 - ⑥持久走（全身持久力 / 男子1,500m、女子1,000m）
 - ⑦50m走（瞬発力・疾走能力）
 - ⑧立ち幅とび（瞬発力・筋パワー・跳躍能力）
 - ⑨ハンドボール投げ（巧緻性・投球能力）
- ※⑤か⑥のどちらかを選択して実施

<質問紙調査>

生活習慣や運動習慣等に関する質問紙調査

4 本市調査結果の概要

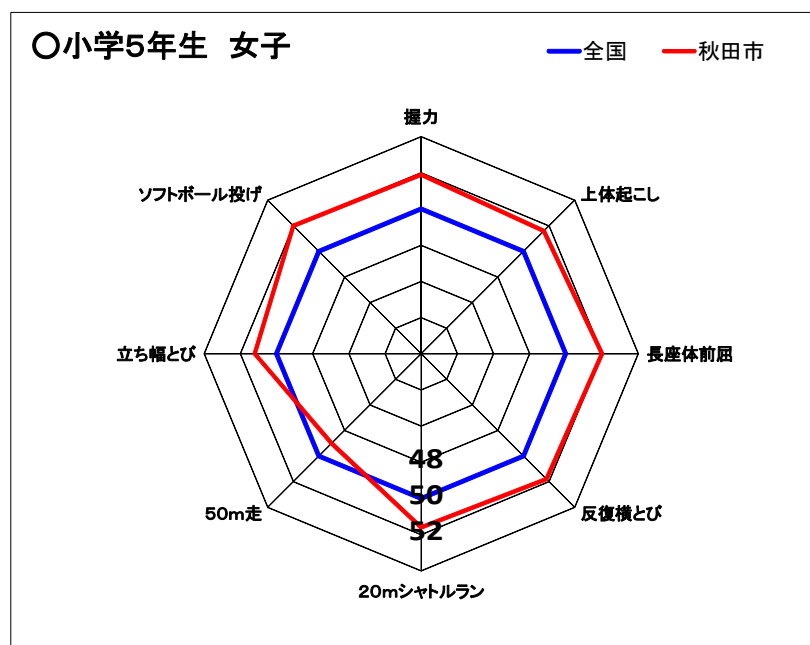
<実技に関する調査結果>



小学校5年生男子では、8種目中7種目が全国平均を上回っています。

筋力（握力）、筋持久力（上体起こし）、柔軟性（長座体前屈）、敏捷性（反復横とび）、全身持久力（20mシャトルラン）、跳躍能力（立ち幅跳び）、投球能力（ソフトボール投げ）は全国平均を上回っています。

疾走能力（50m走）は全国平均を下回っています。



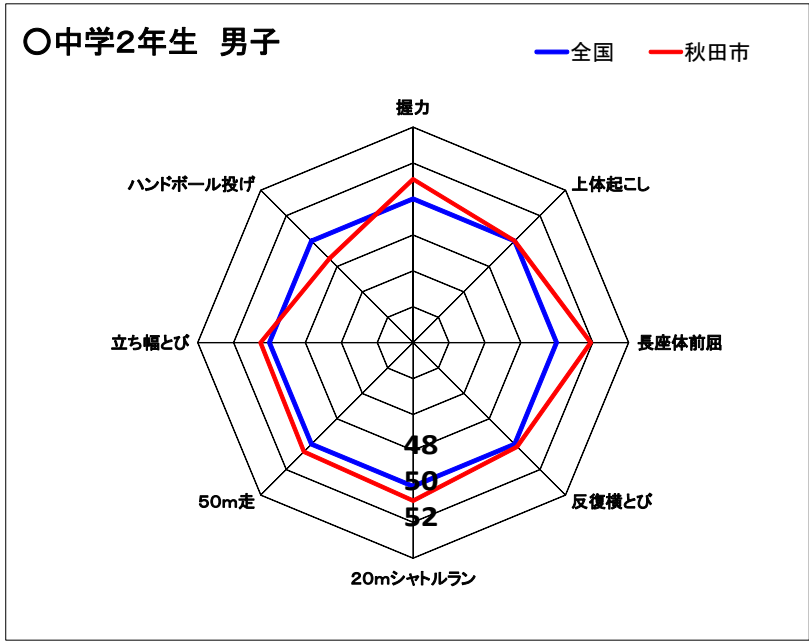
小学校5年生女子では、8種目中7種目が全国平均を上回っています。

筋力（握力）、筋持久力（上体起こし）、柔軟性（長座体前屈）、敏捷性（反復横とび）、全身持久力（20mシャトルラン）、跳躍能力（立ち幅跳び）、投球能力（ソフトボール投げ）は全国平均を上回っています。

疾走能力（50m走）は全国平均を下回っています。

※レーダーチャートは、全国の種目別平均値を50と換算して、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的位置（T得点）として示したものです。

○中学2年生 男子

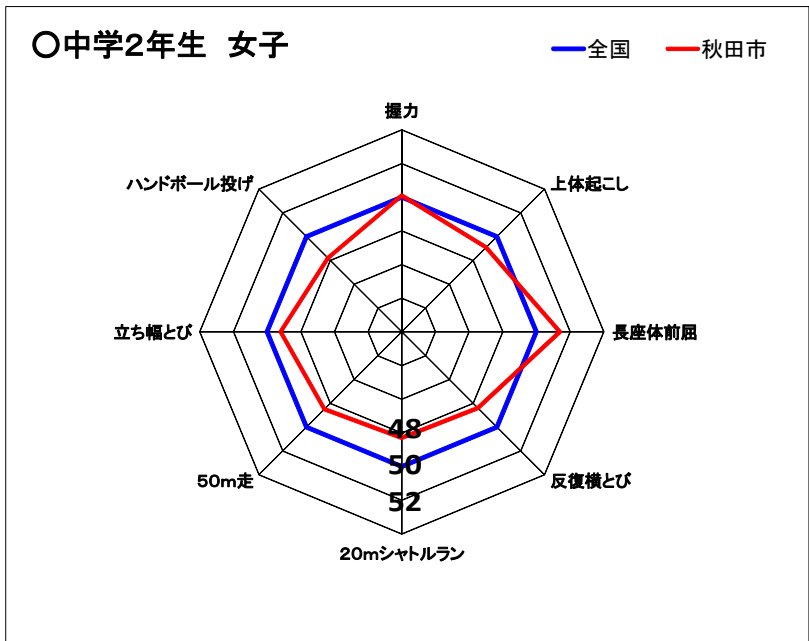


中学校2年生男子では、8種目中6種目が全国平均を上回っています。

筋力（握力）、柔軟性（長座体前屈）、敏捷性（反復横とび）、全身持久力（20mシャトルラン）、疾走能力（50m走）、跳躍能力（立ち幅跳び）、は全国平均を上回っています。

筋持久力（上体起こし）については、全国平均と同等で、投球能力（ハンドボール投げ）は全国平均を下回っています。

○中学2年生 女子



中学校2年生女子では、8種目中2種目が、全国平均を上回っています。

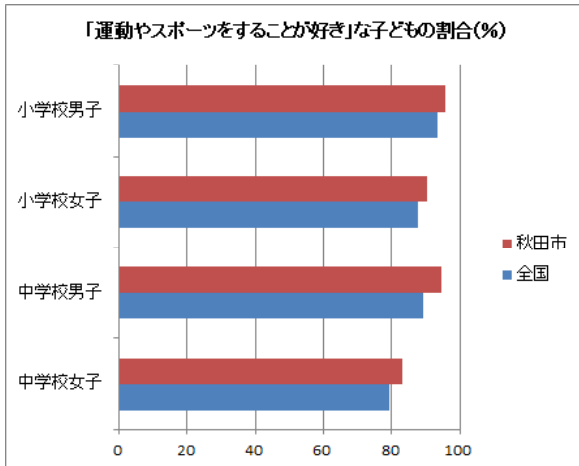
筋力（握力）、柔軟性（長座体前屈）は全国平均を上回っています。

筋持久力（上体起こし）、敏捷性（反復横とび）、全身持久力（20mシャトルラン）、疾走能力（50m走）、跳躍能力（立ち幅跳び）、投球能力（ハンドボール投げ）は全国平均を下回っています。

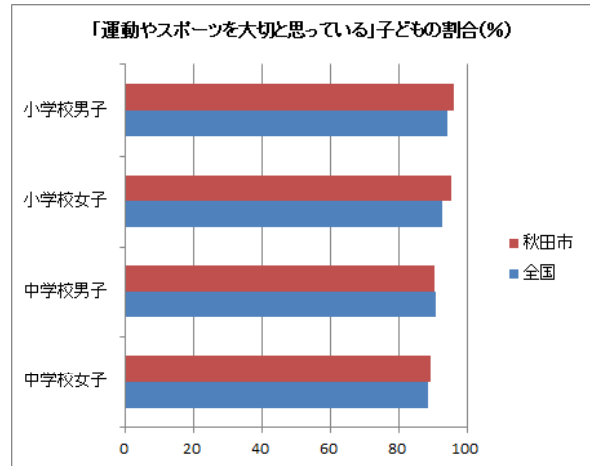
※レーダーチャートは、全国の種目別平均値を50と換算して、全国平均値に対する本市の種目別平均値を相対的位置（T得点）として示したものです。

<質問紙調査結果>

『運動・スポーツに関する意識について』

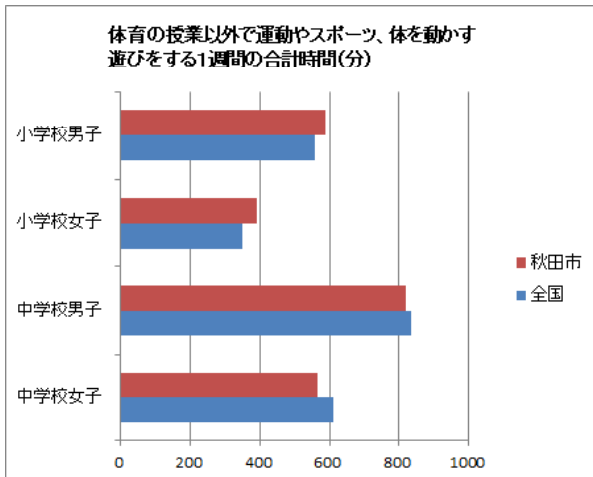


「運動やスポーツをすることが好き・やや好き」と回答した割合は、小学校男女、中学校男子は90%以上、中学校女子は80%以上で、いずれも全国平均を上回っています。特に、中学校男子は、全国平均を5.1ポイント上回っています。



「運動やスポーツは大切・やや大切」と回答した子どもの割合は、小学校男女、中学校男女ともに85%以上です。特に、小学校女子は、全国平均を2.9ポイント上回っています。

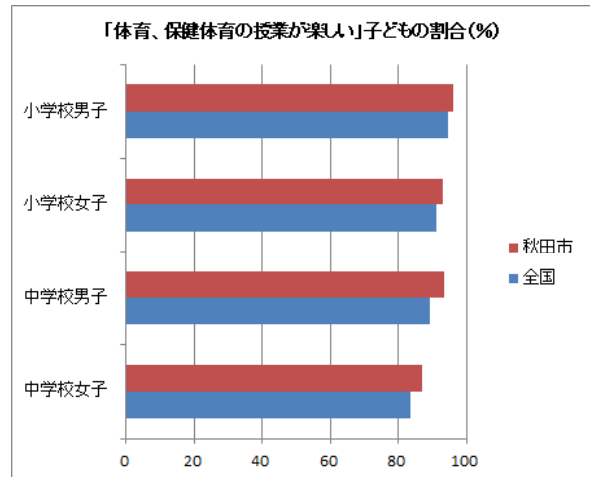
『運動習慣について』



「体育の授業以外で運動やスポーツ、体を動かす遊びをする1週間の合計時間」については、小学校男女は全国平均を上回っています。

しかし、中学校男子は14分、女子は43分、全国平均を下回っています。

『体育（保健体育）の授業について』



「体育（保健体育）の授業は楽しい・やや楽しい」と回答した割合は、小学校男女、中学校男女ともに85%以上で、いずれも全国平均を上回っています。

特に、中学校男子は、全国平均を4.0ポイント上回っています。

5 分析

(1) 小学生

体力合計点[※]は、男女ともに全国平均を上回っています。

一方、疾走能力（50m走）は、男女ともに全国平均を下回っており、課題となっています。原因として、外遊びや外で走る機会が減少しているほか、低・中学年では、効果的にスタートすること、正しいフォームで走ることを意識している子どもが少ないことが考えられます。

(2) 中学生

<男子>

体力合計点は、全国平均を上回っています。

一方、投球能力（ハンドボール投げ）は、全国平均を下回っており、課題となっています。原因として、ハンドボールを投げる機会がほとんどないこと、キャッチボールやドッジボール等ボールを投げる機会が減ってきていることが考えられます。

<女子>

体力合計点は、全国平均を下回っています。

原因として、体を動かす生徒と動かさない生徒の二極化が進んでいることや、体育の授業以外で体を動かす時間が十分確保されていないことが考えられます。

(参考) 体力合計点

	秋田市	全 国
小学校5年男子	55.1	53.6
小学校5年女子	57.4	55.6
中学校2年男子	42.8	41.7
中学校2年女子	49.0	50.2

※体力合計点…8項目の実技テスト結果を合計した得点。それぞれ1点から10点の8項目を合計するために、体力合計点は8点から80点の範囲に分布する。

6 今後の取組

【学校教育における取組】

(1) 実技調査の結果を踏まえて

①小学生

- ・各校の実情に応じて、業間運動を推進したり、外遊びを推奨したりするなど、子どもが遊びを通して運動に親しむ機会の充実に努めます。
- ・課題となっている疾走能力の向上のために、早い段階から加速走やミニハードル等を用いたトレーニングを取り入れたり、ICT機器を活用し、走行姿勢を確認させたりするなど、指導の工夫を図ります。

②中学生

- ・子どもが主体となる体育的行事を工夫し、進んで運動やスポーツに取り組むことができるよう努めます。

<男子>

- ・課題となっている投球能力の向上のために、ハンドボールを扱う機会を増やすなど、球技の指導の充実に努めます。準備運動時には、肩周辺の関節の可動域を広げる動きを取り入れ、投球動作に慣れる機会の充実に努めます。また、子どもが投球フォームを確認し、お互いにアドバイスし合いながら取り組むことができるよう、ICT機器を活用した指導の工夫を図ります。

<女子>

- ・保健の授業等を活用し、子どもが自分の体力に合わせて日常的に運動に取り組むための動機付けを図り、体力の向上につなげます。
- ・授業の開始時にサーキットトレーニングやランニングを取り入れたり、運動の苦手な子どもも活躍できるようなルールでミニゲームを行ったりするなど、十分な運動量の確保と体力の向上に努めます。

(2) 質問紙調査の結果を踏まえて

「体育・保健体育の授業が楽しい」「体育・保健体育の授業で体を十分に動かしている」と回答した子どもは、小中ともに85%を超えています。また、「体育の授業で自分に合った練習や場を自分なりに選んで活動している」と回答した子どもは、小中ともに80%を超え、全国平均を8～13ポイント上回っています。

今後も、運動への意欲が高まる授業を工夫しながら、一人ひとりの運動時間を中学校でも確保できることを重視し、指導の充実に努めます。

【家庭・地域との連携した取組】

「健康でいるために運動を行うことが大切だ」と回答した子どもは、小中ともに約90%でした。

今後も、子どもが日常的に運動する習慣を身に付けることができるよう、本調査の結果を家庭と共有し、家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを働きかけてもらったり、家庭でできる運動を推奨したりします。また、生活習慣の基本である「運動」「食事」「睡眠」のバランスがとれた生活習慣を身に付けることができるよう、家庭との連携に努めます。

学校適正配置の取組状況等について

市内7つの地域ブロックに、地域や保護者の代表者で組織する協議会を設置し、学校統合の方向性（学校の組合せ）について、協議を継続しており、各地域における進捗状況は、次のとおりである。

ブロック (開催日)	進捗状況	
中央地域 ①R1. 7. 18 ②R1. 10. 10 ③R2. 1. 23	小学校	協議会内に小委員会を設置し、統合の方向性の決定に向けた、今後の進め方について検討する。
	中学校	現状の3校(秋田南中、山王中、泉中)のままとする。
東部地域 ①R1. 8. 8 ②R1. 11. 1 ③R2. 2. 13	小学校	2月13日(木)に開催する協議会において、教育委員会から検討のたたき台となる学校統合の組合せ(案)を提示する。
	中学校	
西部地域 ①R1. 7. 22 ②R1. 10. 17 ③R1. 12. 18 ④R2. 2. 19	小学校	日新小、浜田小、豊岩小、下浜小の4校統合案のほか、3校(浜田小、豊岩小、下浜小)＋日新小の一部の統合案、3校(浜田小、豊岩小、下浜小)の統合案があり、2月19日(水)に協議を行う。
	中学校	秋田西中、豊岩中、下浜中の3校統合の組合せとし、協議の第2段階である学校統合検討委員会へ進める。
南部地域 ①R1. 8. 22 ②R1. 11. 6 ③R2. 2. 5	小学校	教育委員会が示した学校統合の組合せ(案)について、引き続き協議を行う。
	中学校	現状の3校(城南中、御野場中、御所野学院中)のままとする。
北部地域 ①R1. 7. 30 ②R1. 10. 23 ③R2. 1. 14 ④R2. 3. 23	小学校	教育委員会が示した学校統合の組合せ(案)のとおり、①金足西小、下新城小、飯島小 ②上新城小、飯島南小 ③土崎小、土崎南小の3組とし、それぞれ協議の第2段階である学校統合検討委員会へ進める。
	中学校	教育委員会が示した学校統合の組合せ(案)について、引き続き協議を行う。
河辺地域 ①R1. 8. 20 ②R1. 10. 29 ③R2. 1. 29	小学校	岩見三内地区から、拙速に進めないでほしいとの意見があり、岩見三内小・中については、引き続き協議を行う。
	中学校	
		河辺小と戸島小による段階的な統合を検討するため、各委員の所属団体で意見集約し、次回、協議を行う。
雄和地域 ①R1. 8. 28	小学校	雄和地域の小・中学校は、すでに望ましい学校数となっているため、本協議会は再開の要請があった場合に適宜開催する。
	中学校	

下線は開催予定日

令和４年度以降の「成人のつどい」について

令和４年度以降の「成人のつどい」については、現行の「新成人のつどい」と同様に２０歳になる方を対象とし、「２０歳のつどい」等に名称を変更して１月の「成人の日」前日に式典を実施することとしたい。

１ 事業の目的

人生の節目となる２０歳を祝福する記念行事をとおして、これからの社会を担う成人としての責任と自覚を促すとともに、ふるさと秋田への誇りや愛着を高める機会とする。

２ 対象者

当該年度中に２０歳を迎える方で、秋田市に居住している方
(過去に居住していた方や、秋田市に通学先や勤務先がある方も参加可)

３ 開催日

「成人の日」前日

４ 式典の名称

「２０歳のつどい」等に名称を変更する。

５ １８歳で成人を迎える方への対応

１８歳で成人を迎える方々に対しては、広報等にメッセージを掲出するとともに、民法改正の意義等についての周知・啓発に配慮する。

６ 今後のスケジュール

令和２年	３月	教育産業委員会に実施方針案報告
	５月～６月	パブリックコメント等実施
	７月～９月	実施方針決定
	１０月	実施方針公表